

2007年10月23日

教育経営品質研究会(11月例会)の御案内

開倫研究所
林 明夫

謹啓。時下益々御清栄の事とお慶び申し上げます。

お陰様にて、開倫塾の付属機関である開倫研究所で主催させて頂いている「教育経営品質研究会」も、4年目を迎えることができました。これは、一重に皆様の御理解・御協力の賜と、心から感謝申し上げます。

(1)先月からスタートした第4期は、経営者を含め教育機関を担う人々の能力向上を図り、組織能力を向上させた上で、組織としての理念や戦略を達成するにはどうしたらよいかに焦点を絞り、参加メンバーの「卓越した業績」達成のための研究を致しております。

(2)今期は、学習塾、予備校、私立学校の経営戦略にも造詣の深い白鷗大学大学院経営学研究科教授、宇都宮大学大学院工学研究科客員教授を努められる柳川高行先生に毎回御臨席頂き、経営学の立場からアドバイスを頂いております。柳川先生は、内外の大企業のみならず、中小企業や中堅企業の事例研究を通して、企業経営のあるべき姿を研究され、積極的な執筆活動を重ねられていらっしゃいます。また、私にとっては、15年以上御指導頂いている先生であります。

(3)11月例会では、「尊敬される先生の条件とは何か」を中心テーマにします。①まず、「教育現場の現状」を柳川先生の意識調査の研究成果の発表を通して把握致します。②次に、発表可能な各参加者から「研修計画」を発表頂してき、研究を深めたく考えます。③最後に、「新聞を教育にNIE(Newspaper In Education)週間」にちなみ、発表可能な各メンバー機関のNIEの取り組みも報告して頂き、新聞を通した学習者「本人の自覚」の促し方の研究も行いたく考えております。

皆様御多忙中とは存じますが、是非とも御参加の栄を賜りたく御案内申し上げます。

敬具

—— 記 ——

○日 時 2007年11月 日(木) 13:30～17:30

○場 所 同友クラブ会議室

○内 容 1)「研修計画」事例研究

2)「NIE」事例研究

3)柳川高行先生のお話

○参加費 1名5000円